

令和5年度(2023年度)

第2回留萌地域いじめ問題等対策連絡協議会の概要

事務局：留萌教育局教育支援課

<本協議会について>

令和6年2月15日(木)に24名の構成員に出席をいただき、「第2回留萌地域いじめ問題等対策連絡協議会」を開催しました。本協議会では、留萌市教育支援センター「ゆっくるも」の取組についての事例発表を行った後、各学校(園)、関係機関における今年度の取組の成果等について共有するとともに、次年度の方向性を確認しましたので、概要についてお知らせします。



<事例発表>留萌市教育支援センター「ゆっくるも」の取組について

- ・留萌市では、年々増加する不登校児童生徒に対応するため、令和5年6月より教育支援センターの本格的な運営を開始している。
- ・運営開始に向けて、先進自治体への視察を重ねることにより、「人員の確保の方法や理想的な人物像」「不登校児童生徒への支援方法や通いやすい環境と立地」等について、課題を解決していった。
- ・活動内容は、「生活指導」「学習指導」「適応指導」「教育相談」の4点である。
- ・体験活動にも力を入れており、次年度以降、内容を充実させる予定である。
- ・指導員は、センターでの指導の他にも児童生徒の登校に付添ったり、各校の不登校対策会議に出席したりしている。



<協議>今年度の取組の成果と課題

令和5年度取組の重点

- いじめの未然防止に資することを目指し、児童生徒が主体的に、心理的安全性の高い学校・学級づくりに取り組む機会の充実
- 「いじめ見逃しゼロ」を達成するため、いじめ把握アンケートのみに頼ることなく、児童生徒理解に一層努め、教職員が日頃から情報共有し、児童生徒の変化に早期に気付くよう取組を推進
- 学校や教職員は、児童生徒が自発的・主体的に自らを発達させていこうとする過程を支えるため、発達支持的生徒指導の取組を充実
- 不登校の未然防止、適切な支援のため、
 - ・いじめや暴力行為などの問題行動を許さない安心・安全な学校づくりを推進
 - ・あらゆる手段を用いて学習の機会を可能な限り保障
 - ・スクールソーシャルワーカーや教育支援センターなど、外部機関との連携・活用を確実に推進
- 学校は、地域総がかりで子どもたちの健全育成を目指す中心的役割を果たすため、関係機関と積極的かつ強固な連携した教育活動を推進

＜協議＞今年度の取組の成果と課題

- ・児童生徒が安心・安全できる学校づくりを進めることができた。
- ・子どもに委ねて、任せて、見守るような指導を進めることができた。
- ・異年齢活動など、児童生徒が自分で考えて活動する場面を多く取り入れることにより、児童生徒が子ども同士で人間関係等を学んでいくことができた。
- ・感情を表に出す年齢の子どもの気持ちを大切に、指導することができた。
- ・早期発見のための一つの手段として、校内生徒面談週間の設定や簡易版いじめアンケートを毎週実施することができた。
- ・町内の学校及び教育委員会が合同で生活指導に係る会議を開催し、情報共有を図ることができた。
- ・児童生徒の成長過程でのトラブルはつきものであることから、そこから児童生徒が学ぶことができる指導が必要である。
- ・関係機関と連携を深め、児童生徒の見守り等が必要である。
- ・いじめが起きない環境づくりが大切であることから、各校児童生徒会を中心にした活動を推進していく必要がある。
- ・個々や集団によって背景や環境が異なることから、クラスや部活動など小集団へのアプローチが必要である。
- ・いじめ問題等への対応を、学級担任や部活動顧問が1人で抱え込まない学校体制を構築するため、気になる生徒について情報共有するなど、組織的な対応を推進する必要がある。
- ・言葉は相手によって受け取り方が異なることから、自身が発する言葉を相手がどのように捉えるかについて考えさせる指導が必要である。
- ・いじめ問題等に係る校内研修を5回実施し、理論的な内容だけでなく、実践的な情報の共有ができる組織に向けて取組を進めている。
- ・不登校及び支援を要する生徒への対応では、ニーズに応じて解決していくためにも、支援センター等と連携し、生徒や保護者によい道筋を示せるようにしていきたい。
- ・少年サポートセンターでは、心理学的知見を有する職員による「自分を大切にする教室」を開催していることから、実施希望等の詳細は、最寄りの警察署生活安全課まで連絡していただきたい。

＜次年度の取組の方向性＞

- ・いじめ及び自殺、不登校に対しては、常に危機感をもって対応する。
- ・学校だけでできることには限りがあることから、関係団体の力が必要であり、学校と関係団体が協働して児童生徒に対応する。
- ・各所属において、会議の内容を組織内で共有し、次年度の取組に生かす。